

過去のちっぷろぐ(平成26年7月～9月)

チーベルくん町を飛び出す ～チーベルくんの観光 PR 大作戦～



平成 26 年 07 月 07 日

チーベルくんが町を飛び出し、札幌に登場しました！

7月5日(土)にサッポロファクトリーで開催された「サッポロビール★道産子感謝Day」にチーベルくんが参加しました。初めて町から出たチーベルくん、最初は緊張していましたが、ステージでは素敵な笑顔を見せてくれました。

クイズ大会では、景品にブロッコリー麺と、先月21日から販売が開始されたご当地お土産「緑のラングドシャ」を用意し、まちの魅力をPRしてくれていました。

特産品「あかずきんちゃん」の製造が始まりました



平成 26 年 07 月 16 日

今年度産のトマトジュース「あかずきんちゃん」の製造が7月16日から始まりました。

太陽の日差しをいっぱい浴びた真っ赤なトマトたちが、秩父別町の特産品「あかずきんちゃん」へと生まれ変わります。

第37回秩父別とんでんまつりが開催されました



平成 26 年 08 月 06 日

8月3日(日)第37回秩父別とんでんまつりが、ふれあいプラザ周辺で開催されました。

当日は快晴に恵まれ、むかで競走大会、飲んでんパーティー、花火大会などのイベントがあり、たくさんの来場者で盛り上がりました。

また、開村120年を記念して自衛隊ヘリコプターの搭乗体験やカラーガード隊のパフォーマンスなど、例年にはないイベントが開催されました。



北海道警察音楽隊・カラーガード隊によるパフォーマンス。北島三郎の「祭り」や大ブームになったアナと雪の女王の「Let it go」など、一糸乱れぬドリル演奏が披露されました。



キャラクターショーを見に集まった親子たち。目の前で行われる迫力のステージに子供たちは釘づけ。ショーの後のサイン会にも長蛇の列ができました。



今年も「そらち応援隊」の皆様がボランティアとして来てくれました。「そらち応援隊」は空知管内での各種イベント等を通じながら関係市町や住民を応援するため、空知総合振興局において地域振興に精通した職員によって結成されております。当日は、「松ぼっくりのツリー」の工作体験や「木製のスマートボール」などを行っていただき、子どもたちに大人気でした。



演歌歌手の仁支川峰子さんによる歌謡ショーに会場は満員状態！デビュー曲にして代表曲の「あなたにあげる」など数々の名曲を熱唱し、会場の皆さんも大満足。花束をプレゼントする熱心なファンもいらっしゃいました。



大抽選会では抽選番号にみなさん一喜一憂。今年の特賞は南部鉄器の釜が使われた高級炊飯器「極め羽釜」。わが町のご当地キャラクター「チーベルくん」が見守る中、神薮町長から当選者に手渡されました。

チーベルくんの夏 ～チーベルくん ひまわりまつりに行く～



平成 26 年 08 月 12 日

チーベルくんが、隣町北竜町の第 28 回北竜ひまわりまつりに登場しました！

8 月 9 日（土）にひまわりまつりの中で開催された「ゆるキャラフェスティバル」にチーベルくんも参加しました。北竜町のゆるキャラ「ひまわり咲ちゃん」（写真左）に初めて会い、「隣町にこんなにかわいい子がいたのかぁ」と感嘆の声をもらしたチーベルくん。「アグリファイ

ターノースドラゴン」を見て、「うわあ、格好いい！」と目を輝かせていました。ほかにも、深川市、月形町、むかわ町からキャラクターが参加し、会場は大変盛り上がっていました。

こどもとのスイカ割り対決では、剣豪チーベルくんが見事スイカを割り勝利。「大人げないことをしたかなあ…」と語るチーベルくんでしたが、お土産の「緑のラングドシャ」を受け取ったこどものこぼれんばかりの笑顔を見て、ほっとしたようでした。

中学生が取材にきました！



平成 26 年 08 月 12 日

秩父別中学校の 1、2 年生が、学校祭の「壁新聞」の取材のためにそれぞれ役場にきました。

共通していた取材内容は「少子高齢化対策」。

秩父別町の人口減少の原因や今後の展望、町が行っている取り組みなど、自分たちの将来にかかわる問題について真剣な表情で取材に臨んでいました。

ほかにも 1 年生は秩父別町の農業について、2 年生は秩父別町のアピールポイントや特産品についてそれぞれ取材していました。

今回の取材をもとに、素敵な壁新聞が出来上がることを祈っています。

※写真は 2 年生の様子

まちづくり協働隊「墓地清掃」



平成 26 年 08 月 19 日

お盆後の墓地をきれいにしようと、町民有志グループ「まちづくり協働隊」（大野敬代表）が 8 月 18 日に町有墓地の清掃を行いました。

7 年目を迎えた取組ですが、当日は「隊員」のほか、一般参加者も加わって約 30 人が汗を流しました。

残った供え物や空き缶、しおれた花などを分別しつつ集めたゴミはトラック一杯に積まれ、作業終了後の墓地はとても綺麗になりました。

まちづくり協働隊では、「墓地清掃」だけではなく、工夫を加えながら様々な取組を行っており、新たなメンバーも随時募集しています。

皆様の積極的な参加もお待ちしております。

JA 青年部の取組を紹介します ～消費者との交流事業～



平成 26 年 08 月 20 日

8 月 19 日（火）、JA 北いぶき青年部秩父別支部が、「消費者との交流事業」ということで、5 名のなつみの里利用者とハーブ植栽を行いました。あいにくの雨天ではありましたが、参加

されたなつみの里の方は、青年部盟友の面々が掘った穴に熱心にハーブを植えていました。植栽終了後は交流会が催され、昼食をとりながらの会話が弾んでいました。

農地パトロールが実施されました



平成 26 年 08 月 28 日

農業委員会では毎年、優良農地の確保と保全、遊休農地を未然に防ぐために「農地パトロール（農地利用状況調査）」を全町及び各農事地区で実施しています。

今年度の全町調査が27日(水)の農業委員会総会前に、全農業委員と事務局職員によって実施されました。

委員は、稲穂が垂れ始めた水田や畑が無断転用されていないか、きちんと営農管理されているか現地を確認していました。

北空知管内農業委員研修会が開催されました



平成 26 年 08 月 28 日

北空知農業委員会連絡協議会主催の「北空知管内農業委員研修会」が26日(月)、ファミリースポーツセンターで開催(本町農業委員会が当番)され、北空知1市5町から93名の農業委員及び事務局職員が出席しました。

講演では、「農地中間管理事業の実施について」と題しまして、事業を管轄する公益財団法人北海道農業公社道央支所の職員が、今年度から実施している「農地中間管理事業」について、わかりやすく説明されました。

豊穣の秋 ～稲刈りが始まりました～



平成 26 年 09 月 08 日

最近、朝晩は空気が涼しく、北海道の短い夏の終わりや秋の到来を感じます。

さて、町内でも早いところでは稲刈りが始まっています。

当初、今年は冷夏になるとの予想が報道されていましたが、春から夏にかけての好天のためか、特段の遅れもなく収穫にたどり着きました。

「お米一粒には7人の神様がいます」という言葉があります。日本人の主食であるお米の大切さ、ありがたさを表しているのではないのでしょうか。町内の農家さんが精魂を込めてつくったお米。感謝して、そして美味しくいただきたいですね。新米が出回るのが待ち遠しい！！